科目分類	看護実践能力を高める分野			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
63100	2	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	母性看護学概論 (Introduction to Maternal-newborn Nursing)				
担当教員名	福山　智子				

授業の概要及び到達目標

【概要】

リプロダクティブヘルス／ライツの理念と母性看護の対象及び看護の機能と役割を理解する。母性看護の対象を身体的・心理社会的存在として、ライフサイクル、母子統計、母子関係法規など幅広い視点からとらえ、ヘルスプロモーションのための基礎的知識を修得する。

【到達目標】

1. 母性看護の基盤となる概念や理論、母性看護の目的、対象を理解する。
2. 母性看護の変遷と現状および必要な看護技術を学び、母性看護の課題と展望を考える。
3. 母性を取り巻く環境と母子保健統計の動向、母性機能を果たすための法律や制度を理解する。
4. 生命誕生の神秘に気づき、生命の尊厳と畏敬、母性看護に関わる倫理について考える。
5. セクシュアリティの発達を学び、多様な性のあり方と健康への支援について理解する。
6. 女性のライフサイクル各期における身体的・心理的・社会的特性を理解し、性と生殖に関する健康課題について理解する。
7. リプロダクティブヘルスケアについて理解する。

準　備　学　習　等

第1回目の授業で、全授業の詳細な予定と課題について説明します。授業参加時は、毎回授業テーマの教科書の該当箇所を精読することはもちろん、課題にそって事前・事後学習を行ってください。

成績評価の方法	定期試験 70%、課題 20%、授業毎のレポート 10%
テキスト	「系統看護学講座 母性看護学概論」、(森恵美他：医学書院)
参考図書	「親と子のきずな」、(クラウスとケネル（竹内徹他訳）：医学書院) 「国民衛生の動向」、(厚生労働統計協会) 「女性医学ガイドブック」、(思春期・成熟期編と更年期医療編、日本女性医学学会編：金原出版) 「母性論」、(ルヴァ・ルービン（新道幸恵他訳：医学書院) 「母性の心理社会的側面と看護ケア」、(新道幸恵他：医学書院) ＊この他にも授業内で随時図書を推薦します。

備　　考	・母性看護学は、自分自身が経験している（するかもしれない）学問領域であり、授業を「受ける」という姿勢ではなく、積極的・能動的な姿勢で参加し、授業テーマに関する社会の動向には常に関心や問題意識を持ち、関係資料の収集や整理を通して学びを深化していきましょう。授業の中で、自身の母性観・父性観が育まれる過程を確かめ、時には「看護とは」に戻りながら、専門職者としての看護観や倫理観が成長できるような有意義な時間にしてください。 ・授業に関する質問や、リプロダクティブヘルスに関する悩みの相談は、研究室在室時にはいつでも受けられます。気軽にたずねてください。

授　業　計　画

第 1 回目：母性看護学の基盤となる概念；「セクシュアリティ」「ジェンダー」「母性とは」「親とは」「リプロダクティブヘルス／ライツ」等の母性看護学の基盤概念を学ぶ。（講義）

第 2 回目：母性看護学の目的論、対象論；母性看護とは、母性看護の目的、家族の発達と機能について学ぶ。（講義）

第 3 回目：セクシュアリティの発達と課題；セクシュアリティの発達と課題を学び、多様な性のあり方と健康への支援について学ぶ。（講義）

第 4 回目：母性看護学の基盤となる理論；「母子相互作用」「愛着」「きずな」「母親役割獲得過程」等の母子を看護するために必要な理論を学ぶ。（講義）

第 5 回目：受胎のメカニズムと神秘；受胎のメカニズムを学ぶと同時に、生命誕生の神秘から生命の尊厳と畏敬について考える。（講義）

第 6 回目：女性の身体的特性；生殖器の形態と機能、性分化のメカニズムと異常について学ぶ。（講義）

第 7 回目：母性看護の変遷と現状；母性看護の歴史的変遷、母子保健統計および施策、母子を取り巻く環境について学ぶ。（講義、課題発表）

第 8 回目：母性看護に必要な看護技術；女性の意思決定を支える技術、ヘルスプロモーションのための技術について学ぶ。（講義）

第 9 回目：リプロダクティブヘルス／ライツ；リプロダクティブヘルス／ライツの概要を学ぶ。（講義）

第 10 回目：思春期の健康と看護；思春期の身体的・心理的・社会的特徴、正常な月経と月経異常、性感染症の予防について学ぶ。（講義）

第 11 回目：成熟期の健康と看護；成熟期の身体的・心理的・社会的特徴、家族計画と受胎調節、月経随伴症状、女性生殖器疾患について学ぶ。（講義）

第 12 回目：更年期・老年期の健康と看護；更年期・老年期の身体的・心理的・社会的特徴、更年期症状、骨盤臓器脱について学ぶ。（講義）

第 13 回目：リプロダクティブヘルスケア；虐待と暴力、望まない妊娠と人工妊娠中絶、喫煙などの性と生殖に関する健康と看護について学ぶ。（講義）

第 14 回目：母性看護と倫理；母性看護における医療安全とプライバシー保護、性と生殖にかかわる倫理を学び、女性の意思決定を支える看護を考える。（講義、課題発表）

第 15 回目：母性看護の課題と展望；少子化、生殖補助医療、国際化、平均余命の延長、災害などの社会問題を発見し、保健医療福祉チームの一員として他職種との連携の必要性や、母性看護の課題と展望について考える。（講義、課題発表）